

# ふくしま駅伝 総合10位 市の部8位

第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)が11月19日に開かれ、田村市は総合10位、市の部8位でゴールしました。(記録:5時間22分15秒)

今年の田村市チームは、「ONE TEAM」を合言葉に、勢いのある中高生選手とベテラン選手が、それぞれの持つ力を十分に発揮し、全16区間途切れることなくたすきをつなぎました。市民の皆さん、たくさんの応援ありがとうございました。



## ■ふくしま駅伝出場を目指しませんか?～陸上教室開催～

- 日程 12月1日～6年3月31日
- 時間 毎週水曜日:午後6時45分～8時  
毎週日曜日:午前9時～11時
- 場所 船引運動場、市陸上競技場、市運動公園クロスカントリーコース
- 内容 長距離走等の指導
- 対象者 市内小中学生・一般
- 参加費 無料・申し込み不要
- 主催 田村市陸上競技協会



東北新人優勝の瞬間

今月のChallengerは日本大学東北高校陸上競技部に所属する吉田ゆうさん。吉田さんは、9月に行われた「第63回福島県高等学校新人陸上競技大会」と「第28回東北高等学校新人陸上競技選手権大会(以下、東北新人)」で400mと4×400mリレーに出場し、優勝を成し遂げました。トップ選手が集まる環境で、ひたむきに練習を続け、東北チャンピオンへと急成長を遂げた吉田さんが今思うことは一。

400mは群を抜いてきつい競技で、100、200mと比べて駆け引きが大きくなるのが特徴です。実際に東北新人では、ラスト50mぐらいで競り勝って優勝したので、そういうところに楽しみが生まれるのだと思います。記録を伸ばすために、先生にフォームを相談したほか、チームメイトとお互いのフォームを見合せて、改善点を伝え合うなど、コミュニケーションを取りながら練習しています。



大会の様子

負けているときこそ諦めないで、地道にやっていくことが「陸上」だと思っています。いきなり結果が出ることはないですし、積み重ねていくことが大切。あとは自分に自信を持つこと。400mはメンタルを使う競技でもあるので、普段の練習が自分の心の支えになっていきます。大会前に「あれだけ練習をやったから大丈夫」と、自分に自信が持てるようになりました。



日大東北のチームメイトと(左から2人目が吉田さん)

# インターハイで自分の走りを

## 挑戦者 -第21回-

日本大学東北高校2年 陸上競技部

# 吉田ゆう

### Profile

2006年5月12日生まれ。船引中出身。169cm、63kg。小4から陸上を始める。中2時、顧問の先生の勧めで400mを始める。特に後半200mの粘りが強み。(400m自己ベスト:48秒41)。座右の銘は、青雲之志。尊敬する人物は飯塚翔太。好きなスポーツ選手はノア・ライルズ。趣味はゲーム、YouTubeを観ること。好きな食べ物はラーメンと寿司。

### 入学後を振り返って

高校に入学し、個人種目でも、自分の走りができずに悔しい思いをしていました。少しずつ記録を出せるようになり、気持ちも強くなって、新人戦でようやく優勝でき、うれしかったです。昨年、シーズンが始まる前に「400mのタイムを49秒中盤にする」「東北新人でトップ5に入る」ことを目標に立てました。新人戦では、48秒41の自己ベストで優勝し、自分でも驚きました。

### 後輩に向けて

来年は、東北大会で個人リレーで優勝することはもちろんですが、個人ではインターハイ決勝で戦える強さをつけること、リレーでは先輩たちの県記録(3分12秒61)を塗り替えることを目標に頑張ります。

急成長の選手で、スピードを持てる能力が高いというのが特徴です。そして、とにかく「足を速くする練習」を、自信を持ってやり切ったことが結果につながったと思います。経験値もついてきたので、シンプルに100mの記録を伸ばし、400mで47秒台を出して、インターハイ決勝で走れる選手になることを期待しています。



高橋 直之 顧問